

バリアフリー教室 in 潮来市立潮来小学校

茨城運輸支局では、6月25日（火）に潮来市立潮来小学校においてバリアフリー教室を開催しました。当日は、ノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助を体験し、障がいのある方や高齢者がバスを乗り降りする時にどんなことに困るのか、そして介助する側の大変さと手助けする大切さを学びました。

〔開催概要〕

- 日 時：令和元年6月25日（火）13：50～15：25
- 場 所：潮来市立潮来小学校
- 参加者：4年生 30名
- 主 催：茨城運輸支局／潮来市
- 協 力：（公社）茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕
／（一社）茨城県バス協会／関東鉄道（株）／潮来市社会福祉協議会

〔プログラム〕

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表（体験してわかったこと、
難しかったこと、良かったこと）
- 質疑応答
- まとめ
- アンケート配布



参加者の感想

- 高齢者の体験では、歩くときやバスの乗り降りが大変でした。
- 車いすの人は、坂を下るときとかは怖いんだと分かりました。
- サポートする人もまわりの人も大変なんだと分かりました。
- サポートする人は大変だけど、笑顔になってくれてうれしい気持ちになることが分かりました。
- 「手伝いますか」と聞いたら「お願いします」と言われて手伝うと、とてもいい気持ちになりました。
- 今日はいろいろな体験をして、いろいろな人がいて、困っている人に会ったらお手伝いをしてあげると助かるんだと思いました。
- これからは、高齢者とかが困っていたりバスで座る席がなかったら、お手伝いや席を譲ってあげたいです。



高齢者疑似体験



車いす体験



グループ発表